

（平成25年度当初予算要求）

長野県総合5か年計画（仮称） 「プロジェクトによる施策の推進」に係る主な事業一覧

◎今後5年間の政策推進の基本方針

方針1 「貢献」と「自立」の経済構造への転換 ～信州の強みに立脚した「貢献」と「自立」の経済構造への転換～

長野県の技術力や豊かな自然環境、多様な農林水産物などを活かし、独創的な研究開発や生産技術、6次産業化、更には「おもてなし」の向上などによって商品やサービスなどの「質」を追求し、世界に評価され、貢献できる産業づくりを進め、力強く安定した経済をめざします。
合わせて、自然エネルギーの活用や水・食糧の確保などにより、地域の自立を支えます。

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現 ～信州人としての安心・満足・誇りを得られるライフスタイルの促進～

長野県には先人が築いてきた全国トップクラスの健康長寿、全国一の就業率の高さ、美しい景観・自然環境や優れた伝統・文化に囲まれた暮らしがあります。このような信州ならではの、信州人の原点である暮らし、そして、日本の未来風景ともなり得る暮らしを守り、強化することにより、豊かさを実感できる長野県を実現します。

方針3 「人」と「知」の基盤づくり ～地域の課題を自ら解決できる「人」と「知」の基盤づくり～

未来の信州を実現していく原動力であり、地域の産業や暮らしを支える礎となるのは「人」と人々の持つ「知」です。未来を切り拓く知恵と行動力を持った人材が育つ知の拠点づくりとともに、人口減少の抑制や社会活動に参画する人の増加に取り組みます。

＜発信＞ 「信州」の価値向上と発信 ～信州の強み、信頼性、信州人の誇りなど「信州」の価値を向上させ、統合的に発信～

長野県の強みを活かしながら信州らしさにさらに磨きをかけるとともに、国内外に広く認知してもらうことで、「信州」の持つ価値をさらに向上していく都道府県レベルでは日本初の総合的なブランド戦略により、「信州」を統一感をもって発信します。

◎9つのプロジェクト ～政策推進の基本方針に基づく「未来の信州」に向けた先駆的で先導的な取組～

1 次世代産業創出プロジェクト ～技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出～

* は複数のプロジェクトにまたがって実施する取組

産学官連携推進事業 4,664万9千円

〈商工労働部〉

国際的産学官連携への支援体制を整備するとともに、産学官連携による研究開発を支援することにより、活力あるものづくり産業を振興

- ・ 中小企業と大学等研究機関による研究開発への支援
- ・ 国際的産学官連携による次世代リーディング産業創出への支援

研究開発型企業育成事業 252万5千円

〈商工労働部〉

工業技術総合センターの「次世代産業技術開発推進本部」を拠点として、県内中小企業の下請型・受託加工型から提案型・研究開発型への転換を支援

- ・成長期待分野に係る技術シーズの提案
- ・専門家等を交えた研究会の開催
- ・個別課題に対する共同研究の企画から試作までの一貫した支援

マーケティング支援センター事業 1億6,051万2千円

〈商工労働部〉

県内中小企業のマーケティング力の強化を図るため、販路開拓や受発注取引を支援

- ・マーケティングに関する相談対応、助言
- ・国内外展示会への出展支援
- ・中小企業外国特許出願支援
- ・技術提案型商談会等による国内外の販路開拓の強化 など

⑧ 再生可能エネルギー推進事業(一部)* 1億円

〈環境部〉

持続可能で低炭素な環境エネルギー地域社会の実現のため、市町村や民間事業者等のモデル的かつ波及性のある取組を支援

スポーツ合宿・MICE誘致促進事業* 427万円

〈観光部〉

市町村や宿泊施設等と連携しスポーツ合宿やMICE(国際会議等)の誘致活動を行うとともに、市町村や観光事業者を対象とする研修会等を開催し県内各地の受入れ体制を充実

外国人旅行者戦略的誘致推進事業* 7,835万1千円

〈観光部〉

成長著しい中国はじめ東アジアや東南アジア地域などを主なターゲットに、各市場の特性に応じた効果的な誘客活動を強化するとともに、官民一体となった誘客体制を整備し、外国人旅行者を増加

産業集積強化推進事業 7億2,096万4千円

〈商工労働部〉

- 雇用の確保や地域経済の活性化を図るため、産業集積を強力に推進
- ・成長が期待される産業分野に重点を置いた集中的な企業訪問の実施
 - ・産学官の連携による企業誘致
 - ・ものづくり産業応援助成金の交付

創業・事業引継ぎ支援事業 405万4千円

〈商工労働部〉

創業のための相談・助言をワンストップで実施するとともに、創業しようとする者を対象としたセミナーの開催や後継者不在などで事業活動を継続できない中小企業者への相談窓口を設置

- ⑧ 「ながの創業サポートオフィス」の分室を開設
- ・学生向け創業セミナーの開催
- ⑧ ・女性向け創業セミナーの開催 など

キャリア教育支援事業* 3,208万4千円

〈教育委員会〉

「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、地域社会や産業界が学校を支援する仕組み(プラットフォーム)を構築し、幼保・小・中・高一貫した体系的なキャリア教育を推進

U・Iターン促進事業* 2,768万3千円

〈商工労働部〉

合同企業説明会やIターン休日相談会などの開催、求人情報などの各種情報提供、県内ハローワークや県外大学等との連携により、県外から県内への就職を促進し、県内企業の人材を確保

2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

～観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成～

① 新 山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり推進事業 1,375万6千円 <観光部>

山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりを推進するため、具体化に向けた研究やセミナーなどを実施

- ・有識者や候補地の関係者の参画による調査研究の実施
- ・長期滞在の実現に向けた宿泊施設の業態研究
- ・観光マーケティングの機能強化

世界に誇る信州の農村景観育成事業 653万3千円 <建設部>

美しく豊かな信州の農村景観を保全・育成し世界に誇れるものとするため、「信州らしさ」と「ふるさと」を実感できる風景づくりを促進

- ① 新 ・ふるさと信州景観百選の発行
- ① 新 ・視点場づくり(ビューポイント)への補助
- ① 新 ・農村景観育成の集いの開催

信州の景観育成支援事業 309万8千円 <建設部>

景観の保全や地域特性を活かした魅力ある景観づくりを推進するため、地域景観の保全などを担う人材の育成や景観に対する関心を一層高めるための取組などを支援

- ・地域景観協議会の運営
- ・景観育成住民協定の認定
- ・地域景観リーダー研修会

信州高原リゾートのゲート機能強化事業 1,394万2千円 <環境部>

高原リゾートの来訪者に自然に親しむための情報や機会を提供するとともに、自然保護の普及啓発を実施

民間との協働による山岳環境保全事業* 1,200万円 <環境部>

市町村が実施する登山道、山岳環境保全施設等の整備や山小屋関係者が実施する管理者が不明確な登山道の補修作業に必要な資材費等に対し支援

信州登山案内人の利用促進事業 222万5千円 <観光部>

安全で楽しい登山を提供するための、長野県独自の制度である信州登山案内人の資質向上と積極的なPRによる利用の促進

山岳遭難防止対策推進事業 4,090万円 <観光部、教育委員会、警察本部>

全国一の山岳観光県として遭難の未然防止は重要な課題となっているため、「ふるさと信州寄付金」を活用した遭難防止対策を推進

- ・登山者への啓発活動及び遭難事故多発地域のパトロール
- ① 新 ・未組織登山者対策の実施
- ① 新 ・山岳遭難対策用無線機の更新 など

信州まつもと空港活性化事業 2,580万円 <企画部>

信州まつもと空港を発着する定期便の広報宣伝や誘客キャンペーンの実施、国際チャーター便の誘致等、関係機関が一体となった利用の促進

外国人旅行者戦略的誘致推進事業 7,835万1千円

〈観光部〉

成長著しい中国はじめ東アジアや東南アジア地域などを主なターゲットに、各市場の特性に応じた効果的な誘客活動を強化するとともに、官民一体となった誘客体制を整備し、外国人旅行者を増加

- ・海外メディア等の招へい、現地での観光説明・商談会の開催
- ⑨・外国人旅行者の誘致から手配までを一体化した体制の整備
- ⑨・中華圏からの個人旅行者の誘致のためのビジネスモデル構築 など

スポーツ合宿・MICE誘致促進事業 427万円

〈観光部〉

市町村や宿泊施設等と連携しスポーツ合宿やMICE(会議やイベント等)の誘致活動を行うとともに、市町村や観光事業者を対象とする研修会等を開催し県内各地の受入れ体制を充実

- ・スポーツ合宿・MICE誘致推進員による誘致活動の推進
- ・受入施設データブックやパンフレットの作成

「スノーリゾート信州」プロモーション事業 1,992万8千円

〈観光部〉

市町村、民間団体との連携により、魅力に満ちた新たなスノーリゾートの形を発信し、スキー場利用者数を拡大

- ・スキー場誘客イベントの開催・出展
- ・雑誌・テレビ等によるPR
- ・ファミリー、若年層をターゲットにしたプロモーションの実施

⑨ 観光地域づくり促進事業 1,490万円

〈観光部〉

観光地域づくりを牽引していく中核人材の育成と滞在交流型プログラム群の創出支援により、魅力的な観光エリアを形成

- ・中核人材の育成塾の開催
- ・観光地域づくり組織の育成
- ・滞在交流型プログラム群の創出支援

⑨ 観光おもてなし推進事業 5,889万9千円

〈観光部〉

観光サービス全般にわたる接客と県民参加によるおもてなしの向上により、誘客の拡大と再訪の促進

- ・県民に向けた「おもてなしキャンペーン」の展開
- ・事業者向けおもてなしハンドブックの作成配布
- ・観光地のトイレ改修に対する助成 など

⑨ 「アート・リゾート信州」構築事業(一部) 710万円

〈企画部〉

優れた文化芸術の鑑賞機会や発表の機会を広く県民に提供し、心豊かな暮らしを実現すると同時に、アートで彩られ多くの人を訪れる場を創出

- ・若手芸術家等の新たな活動の場の創出

「国際青少年交流農村宣言」推進事業 377万3千円

〈観光部〉

市町村や地域と一体となって「国際青少年交流農村宣言」の普及を図ることにより、農村交流の拡大や県内への学習旅行の誘致を促進

- ・農村ツーリズムセミナーの開催
- ・学習旅行誘致キャラバン隊の派遣
- ・PRパンフレットの作成

農村交流活性化支援事業 696万円

〈農政部〉

農山村地域の活性化を図るため、地域の特性を活かした都市農村交流を推進する活動や交流の拠点となる施設の整備を支援

- ・グリーン・ツーリズムの推進や学習旅行を県内に誘致する活動への支援
- ・都市農村交流施設の整備への支援

農業で夢をかなえる支援事業 7億67万1千円

〈農政部〉

「日本一就農しやすい長野県」とするため、就農希望者の誘致に取り組む市町村等との連携を強化する仕組みづくりを進めるとともに、就農相談や体験・研修、就農後の経営安定に向けた支援などを実施

- ・就農情報発信ウェブサイトなど意欲ある就農希望者を誘致する仕組みへの支援
- ・里親農家における就農研修の実施
- ・企業的な農業経営を目指す若手農業者を対象とした研修会の実施 など

① 信州農業6次産業化推進事業 441万6千円

〈農政部〉

地域での雇用の創出や農家所得の向上を図るため、農業者等の6次産業化への取組を誘起し、農業法人の他産業との連携や法人化を支援

- ・関係団体との連携による6次産業化の推進体制の構築
- ・6次産業化による共同新商品開発や販路開拓への支援
- ・小規模な6次産業実践者の法人化への支援 など

信州ジビエ活用推進事業 1,040万9千円

〈林務部〉

捕獲した野生鳥獣を地域の有用な資源として活用するため、信州ジビエ研究会と連携し、総合的なジビエ振興を推進

- ① 安全・安心で良質なシカ肉の供給や需要の拡大、人材養成や効果的なプロモーションを行う取組を支援
- ・信州産シカ肉を中心に野生獣肉の安全性を確認する放射性物質検査の実施

ワインブランド化推進事業 2,638万円

〈観光部〉

県産ワインやワイン用ぶどうの評価が高まるなか、県産ワインのブランド化を推進することにより誘客を促進

- ① ワインブランド化推進協議会の設立
- ・ホームページの構築、首都圏でのPRイベントの開催等による情報発信

① ワイン生産アカデミー事業 120万円

〈農政部〉

ワイン用ぶどうの生産やワイナリーを起業しようとする意欲ある新規参加者を支援するため、ぶどう栽培やワイナリー経営に係る知識・技術を習得する講座「ワイン生産アカデミー」を開講

「おいしい信州ふード(風土)」プロジェクト推進事業* 7,371万2千円

〈農政部〉

「おいしい信州ふード(風土)」の認知度向上を図るため、「おいしい信州ふード(風土)」大使を先頭に県内外へ積極的に発信

林業再生総合対策事業 7億5,450万8千円

〈林務部〉

持続可能な林業経営を実現するため、一定面積の森林を「林業経営団地」として設定し、団地内での所有境界の明確化と林内路網の整備を集中的に支援することにより、低コストで効率的な木材生産を実現

① 未利用木材生産システム検証事業 2,496万円

〈林務部〉

大半が未利用となっている病害虫による被害材や広葉樹等の森林資源を有効に活用するため、伐採から搬出に至る生産過程を検証し、低コストで効率的な生産システムを構築することにより、信州F・POWERプロジェクトや健全な森林の持続的な管理を推進

① 「サプライチェーンセンター」構築事業 536万8千円

〈林務部〉

集中型の製材工場等に定量かつ適切な木材を安定的に供給するため、工場側の需要情報と木材を生産する山側の供給情報を一元的に管理する「サプライチェーンセンター(仮称)」を構築することにより、信州F・POWERプロジェクトを推進するとともに、県内の木材流通を改善

⑨ 信州フォレストコンダクター育成事業 600万円 <林務部>

里山を活用した地域づくりから、森林管理、木材の出荷・利活用まで、経営感覚を持ちながら総合的な視野で指揮することのできる知識と技術を有する人材を育成

⑩ 信州の木を活かすモデル地域創生事業 2,000万円 <林務部>

身近な里山からの間伐材を有効に活用するため、地域が主体となった、薪などの木質バイオマスとしての利用や商店街等の木質化などの先進的なモデルとなる取組を支援

3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト

～地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創造～

⑪ 地球温暖化対策事業 4,050万円 <環境部>

家庭への省エネルギーアドバイスや省エネルギー診断の実施、一定規模以上の事業所への立入調査等による温室効果ガス排出量削減のための指導・助言、建築主が自然エネルギーの導入等を検討する制度を普及

⑫ 信州型エコ住宅・低炭素住まいづくり推進事業 8,553万円 <建設部>

県産材の活用や省エネルギーに配慮した「信州型エコ住宅」の新築に対して助成

再生可能エネルギー推進事業 5億458万1千円 <環境部>

自然エネルギーの普及拡大を図るため、市町村や民間事業者等が行う取組の支援などを実施

- ⑬ 市町村や民間事業者等のモデル的かつ波及性のある取組を支援
- ⑭ 市町村や民間団体の人材育成やネットワーク化を推進
- ⑮ 災害に強い自立分散型のエネルギーシステムを導入する市町村等を支援

⑯ 未利用木材生産システム検証事業* 2,496万円 <林務部>

大半が未利用となっている病虫害による被害材や広葉樹等の森林資源を木質バイオマスエネルギー等へ有効に活用するため、伐採から搬出に至る生産過程を検証し、低コストで効率的な生産システムを構築

⑰ 「サプライチェーンセンター」構築事業* 536万8千円 <林務部>

木材を安定的に供給するため、工場側の需要情報と木材を生産する山側の供給情報を一元的に管理する「サプライチェーンセンター(仮称)」を構築することにより、信州F・POWERプロジェクトを推進するとともに、県内の木材流通を改善

土地改良施設エネルギー活用推進事業 3億4,040万円 <農政部>

農業水利施設が有する自然エネルギーを活用した電力利用を促進するため、モデル施設(小水力発電や太陽光発電)の設置と普及活動を支援

- ⑱ 農業水利施設(用排水路等)を活用した小水力発電モデル施設の設置
- ⑲ 地域の合意形成や管理技術者の育成に対する支援

⑲ 新規発電所建設事業 7,646万7千円 (企業会計) <企業局>

事業規模の拡大による経営の安定を図るとともに、自然エネルギーの普及拡大に寄与するため、高遠及び奥裾花第2発電所の新規建設に着手

⑳ 水資源保全対策事業 2,185万1千円 <環境部>

県民共有の貴重な財産である水資源を将来にわたって保全していくため、水資源の実態を調査するとともに水資源の保全のための土地の取引等の事前届出制を導入

森林づくり推進支援金 1億3,000万円

〈林務部〉

- 地域固有の課題に精通する市町村が行うきめ細かな森林づくりを支援
- ⑨ 県民共通の財産である水源林を保全していくため、市町村が公的管理を行うために水源林を取得する取組を支援 など

農業で夢をかなえる支援事業* 7億67万1千円

〈農政部〉

「日本一就農しやすい長野県」とするため、就農希望者の誘致に取り組む市町村等との連携を強化する仕組みづくりを進めるとともに、就農相談や体験・研修、就農後の経営安定に向けた支援などを実施

人と農地を明日へつなぐ支援事業 4億3,307万2千円

〈農政部〉

地域農業の持続的な発展を図るため、地域の中心となる農業経営体の育成を促進するとともに、農地の集積や有効利用を支援

- ・地域農業の方向付けと担い手を明確化する「人・農地プラン」の作成活動を支援
- ・地域農業を担う経営体の育成や農地の有効利用を支援

「おいしい信州ふーど(風土)」プロジェクト推進事業* 7,371万2千円

〈農政部〉

「おいしい信州ふーど(風土)」の認知度向上を図るため、「おいしい信州ふーど(風土)」大使を先頭に県内外へ積極的に発信

4 健康づくり・医療充実プロジェクト ～「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実～

高血圧予防県民運動推進事業 808万1千円

〈健康福祉部〉

県民の高血圧を予防するため、食生活の課題改善及び自己血圧管理のための普及啓発と環境整備を強化

- ⑨ 県民減塩運動の推進
- ⑨ 血圧測定の推進

食で育む信州食育実践事業 308万1千円

〈健康福祉部〉

健康長寿と豊かな人間形成を目指した総合的な食育を県民運動として展開するため、県民への普及啓発や関係機関との連携等の体制を整備

- ・食育推進の県民運動の実施
- ⑨ 子どもの食育の実践 など

学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業 85万7千円

〈教育委員会〉

子どもたちに正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせ、心身ともに健全な発達を促すため、栄養教諭の指導力向上などにより、家庭、地域と連携し、学校における食育を一層推進

- ・栄養教諭の研修、活動支援
- ⑨ 児童生徒の食に対する実態調査の実施

健康増進対策総合推進事業 1,684万7千円

〈健康福祉部〉

県民が健康的な生活を送るため、県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む施策を展開

- ⑨ 高齢者等の運動の促進
- ⑨ 健康ボランティア活動の強化 など

長野県版運動プログラム普及事業* 1,309万円 <教育委員会>

子どもたちに体を動かすことの楽しさやスポーツの魅力を伝え習慣化のきっかけをつくとともに、指導者の養成など児童生徒の体力・運動能力の向上を推進

- ・「運動遊び」普及定着のための長野県版「運動プログラム」研修会の実施
- ・「体づくり運動」実技講習会等の実施
- ⑨ 県内のケーブルテレビと連携した「運動遊び」の番組を放送 など

がん対策総合推進事業 11億6,405万3千円 <健康福祉部>

予防から早期発見、治療、緩和ケアまで広範にわたるがん対策を行政や医療関係者、県民など幅広い参画のもとに総合的に推進

- ・がん予防の推進
- ・がん診療連携拠点病院の整備
- ・在宅がん緩和ケアの地域連携 など

地域医療再生事業 48億8,423万9千円 <健康福祉部>

県が策定した地域医療再生計画に基づき、地域(医療圏)の医療課題を解決するための取組を支援

- ・病院の統合再編等への支援
- ・救急医療、がん対策における高度・専門医療機関の整備・充実
- ・高度・専門医療機関と連携する医療機関の機能強化 など

精神科救急医療整備事業 9,511万1千円 <健康福祉部>

休日や夜間に緊急に医療を必要とする精神障害者に対する医療体制の確保

- ・精神科救急病院の運営費の助成
- ・精神障害者等からの医療相談に24時間体制で対応

⑨ **自殺ハイリスク者支援事業 243万4千円** <健康福祉部>

関係機関と連携しながら、自殺ハイリスク者に対する支援を強化

- ・自殺企図者、自死遺族へのカウンセリングや相談などを実施

⑨ **在宅医療推進事業 1,491万1千円** <健康福祉部>

医療・介護が連携して在宅療養患者をサポートするための人材教育や連携体制の整備を支援

- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材の育成(地域リーダー研修の実施など)
- ・広域的な在宅医療連携体制の構築

医師確保等総合対策事業 5億8,096万円 <健康福祉部>

医師の確保、定着と偏在解消に向けた取組を実施

- ・「信州医師確保総合支援センター」において、ドクターバンク事業や信州型総合医(仮称)の養成など地域医療を担う医師のキャリア形成支援を実施
- ・将来県内の医療機関への勤務を希望する医学生等を対象に修学資金等を貸与 など

地域包括ケア実践事業 1,873万1千円 <健康福祉部>

医療、介護、予防、住まい、生活支援等が切れ目なく提供される「地域包括ケア」の構築に取り組む市町村等を支援

- ・先駆的取組への助成
- ・地域ケア会議の運営・設置に対する支援
- ⑨ 地域包括ケアを推進するリーダーの養成、多職種協働の推進 など

5 雇用・社会参加促進プロジェクト ～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～

仕事と家庭両立支援推進事業 1,299万2千円 〈商工労働部〉

仕事と家庭の両立に関する啓発や誰もが働きやすい勤務制度の研究・普及を行い、性別に関わりなく子育てや介護に携わりながら、能力を發揮して働くことができる職場環境づくりを支援

- ・セミナーの開催や、先進的な取組を行う企業の表彰等によるワークライフバランスの推進
- ⑨ 短時間勤務制度など多様な働き方の研究と普及
- ・県幹部やアドバイザーによる企業への働きかけ など

保育対策等促進事業* 3億3,141万9千円 〈健康福祉部〉

多様化する保育ニーズ等に対応するため、市町村が行う延長保育や病児・病後時保育等の保育事業に対して助成

創業・事業引継ぎ支援事業* 405万4千円 〈商工労働部〉

創業のための相談・助言をワンストップで実施するとともに、創業しようとする者を対象としたセミナーの開催や後継者不在などで事業活動を継続できない中小企業者への相談窓口を設置

- ⑨ 女性向け創業セミナーの開催

ジョブカフェ信州運営事業 6,322万9千円 〈商工労働部〉

学生を含め40代前半までの方に、キャリア・コンサルティング、就職情報の提供、職業紹介の3つのサービスをワンストップで提供するとともに、失業者の正規雇用に向けたキャリア相談などを実施

- ⑨ 中小企業と求職者間のミスマッチを解消するため中小企業就職支援員を配置

キャリア教育支援事業* 3,208万4千円 〈教育委員会〉

「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、地域社会や産業界が学校を支援する仕組み(プラットフォーム)を構築し、幼保・小・中・高一貫した体系的なキャリア教育を推進

U・Iターン促進事業 2,768万3千円 〈商工労働部〉

合同企業説明会やIターン希望者向けフェアなどの開催、求人情報などの各種情報提供、県内ハローワークや県外大学等との連携により、県外から県内への就職を促進し、県内企業の人材を確保

パーソナル・サポート・モデル事業 1億1,383万6千円 〈商工労働部〉

経済的に困窮する方や社会的に孤立しがちな方に対し、パーソナル・サポーターが寄り添い、当事者の支援ニーズに合わせて、制度横断・継続的に各種支援策のコーディネートなどを実施

- ⑨ 就労開拓担当スタッフの配置による出口戦略(就労)の強化

発達障害者支援事業 4,082万円 〈健康福祉部〉

すべての年代において発達障害に対する途切れのない支援が提供できる体制を整備するとともに、適切な医療連携体制を構築し、発達障害者の支援を総合的に推進

- ⑨ 全年代と全分野の連携・協力体制を取りまとめる専門家の配置
- ・情報共有手段の活用
- ・専門的アセスメント(発達の評価)の普及 など

子ども・若者支援地域協議会事業 250万円 〈企画部〉

社会生活を円滑に行うのに困難を有する子ども・若者が、社会的自立に向けた支援を地域におけるNPO等の支援団体・機関から円滑に受け取ることができるよう「子ども・若者支援地域協議会」を運営

⑨ **困難を有する子ども・若者の社会的自立支援事業 1,100万円** <企画部>

ニート、ひきこもり等の社会生活に困難を有する子ども・若者の社会的自立を支援
・訪問相談、居場所の提供、宿泊を伴う研修を実施する団体を支援
・支援団体の人材養成講習会の開催

⑩ **自立のための寄り添いサポート事業 2,148万9千円** <健康福祉部>

生活保護受給者に対して、日常生活の自立、社会的自立について支援する寄り添いサポーターを配置

「中間的就労の場」創出・支援事業 725万6千円 <商工労働部>

障害認定には至らない就労困難者の支援強化のため、就労機会の担い手となる中間的就労を実施する団体を育成、開拓

⑪ **「人生二毛作人材バンク」運営事業 134万3千円** <健康福祉部・商工労働部>

高齢者の活躍できる場を開拓し、その情報をボランティアセンター等に提供することにより、高齢者の出番を拡大
高齢者が長年培った専門的知識や技術、経験を活かした形で就労や社会参加を促進するため、「人生二毛作バンク」の設立に向け、協議会を設置して検討

⑫ **信州版「あいサポート運動」推進事業 1,168万円** <健康福祉部>

県民や企業・団体の障害者に対する理解を深め、就労をはじめとする障害者の社会生活を応援するサポーターを増やす運動を展開
・「あいサポーター」「あいサポート企業・団体」の募集
・「あいサポート運動」キックオフ・フォーラムの開催

福祉就労強化事業 4,176万2千円 <健康福祉部>

障害者の収入を増加させるため、障害者就労継続支援事業所等の受注業務の拡大等を支援
・事業所間の連携を促進する事業化推進員の配置
・工賃向上セミナーなどの企画調整を行う福祉就労コーディネーターの配置

⑬ **農業分野における就労を促進するための障害者農業チャレンジコーディネーターの配置 など**

⑭ **OJTによる障害者の就労促進事業 1,290万4千円** <健康福祉部>

受入企業の拡大や就労する障害者のサポートなどを行うOJT(職場実習)推進員の配置
・実践的な短期トレーニングの促進

障害者職域拡大アドバイザー設置事業 1,106万7千円 <商工労働部>

小規模事業所等における障害者雇用を促進するため、障害者職域拡大アドバイザーを配置し、施設見学会やセミナーの開催、事業所訪問などを実施

6 誇りある暮らし実現プロジェクト ～景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

⑮ **集落「再熟」、実施モデル地区支援事業 200万円** <総務部>

「信州の宝」である美しい農山村を守るため、市町村と住民が一体となって行う、地域の存続に向けたビジョン策定からその具体化・着手までの3年間の取組を総合的に支援

栄村復興基金事業 5億円 <総務部>

栄村が震災からの早期復興を目指し策定した「栄村復興計画」に基づき実施する事業に対し、当面必要と見込まれる額を交付金として一括交付することにより、復興事業の計画的かつ柔軟で迅速な執行を支援

移住・交流推進事業* 4,881万9千円 <観光部>

大都市をはじめとした県外居住者に対して、総合的・横断的な移住・交流施策を推進し、長野県への移住者や交流人口を拡大

農村交流活性化支援事業* 696万円 <農政部>

農山村地域の活性化を図るため、地域の特性を活かした都市農村交流を推進する活動や交流の拠点となる施設の整備を支援

世界に誇る信州の農村景観育成事業* 653万3千円 <建設部>

美しく豊かな信州の農村景観を保全・育成し世界に誇れるものとするため、「信州らしさ」と「ふるさと」を実感できる風景づくりを推進

民間との協働による山岳環境保全事業 1,200万円 <環境部>

市町村が実施する登山道、山岳環境保全施設等の整備や山小屋関係者が実施する管理者が不明確な登山道の補修作業に必要な資材費等を支援

河川・湖沼等水質保全対策推進事業 5,128万7千円 <環境部>

良好な水環境の保全や健康被害等を未然に防止するため、県内の河川・湖沼や地下水の汚濁状況の常時監視、工場・事業場への監視・指導を実施するとともに、諏訪湖の環境を改善

⑨ **「アート・リゾート信州」構築事業(一部)*** 5,000万円 <企画部>

優れた文化芸術の鑑賞機会や発表の機会を広く県民に提供し心豊かな暮らしを実現するとともに、アートで彩られ多くの人々が訪れる場を創出
・サイトウ・キネン・フェスティバル松本2013の共催

文化財保存修理及び防災事業 9,000万円 <教育委員会>

県民の共有財産である文化財の適切な保存・活用を図るとともに、持続的に後世に継承するため、所有者等が行う文化財の修理・防災に要する費用の一部を助成

7 活動人口増加プロジェクト ～信州を元気にする「活動人口」の増加～

⑨ **ながの結婚応援事業** 2,228万3千円 <企画部>

少子化傾向を改善するため、結婚を希望する者を支援
・ながの結婚・子育て応援宣言(仮称)
・ながの結婚応援センター(仮称)の設置
・信州出会いサポーター(仮称)制度の創設 など

ジョブカフェ信州運営事業* 6,322万9千円 <商工労働部>

学生を含め40代前半までの方に、キャリア・コンサルティング、就職情報の提供、職業紹介の3つのサービスをワンストップで提供するとともに、失業者の正規雇用に向けたキャリア相談等を実施

キャリア教育支援事業* 3,208万4千円 <教育委員会>

「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、地域社会や産業界が学校を支援する仕組み(プラットフォーム)を構築し、幼保・小・中・高一貫した体系的なキャリア教育を推進

保育対策等促進事業* 3億3,141万9千円

〈健康福祉部〉

多様化する保育ニーズ等に対応するため、市町村が行う延長保育や病児・病後児保育等の保育事業に対して助成

仕事と家庭両立支援推進事業* 1,299万2千円

〈商工労働部〉

仕事と家庭の両立のための啓発や誰もが働きやすい勤務制度の研究・普及を行い、男女ともに子育てや介護に携わることができ女性が能力を発揮して働くことができる職場環境づくりを支援

移住・交流推進事業 4,881万9千円

〈観光部〉

大都市をはじめとした県外居住者に対して、総合的・横断的な移住・交流施策を推進し、長野県への移住者や交流人口を拡大

- ① 名古屋、大阪に移住・交流センター機能の設置
- ① 地方事務所に地域移住・交流支援センター(仮称)の設置
- ① 県内移住者と受入関係者との交流の場づくり
- ① 交通事業者等との移住に伴う移動コストの低減策の検討 など

U・Iターン促進事業* 2,768万3千円

〈商工労働部〉

合同企業説明会やIターン休日相談会などの開催、求人情報などの各種情報提供、県内ハローワークや県外大学等との連携により、県外から県内への就職を促進し、県内企業の人材を確保

農業で夢をかなえる支援事業* 7億67万1千円

〈農政部〉

「日本一就農しやすい長野県」とするため、就農希望者の誘致に取り組む市町村等との連携を強化する仕組みづくりを進めるとともに、就農相談や体験・研修、就農後の経営安定に向けた支援などを実施

① **協働の機会創出事業 749万8千円**

〈企画部〉

県民協働により一層質の高いサービスの提供や地域課題の解決を図るため、日常的にNPO等と県との協働相談や協働のコーディネートを行う窓口を設置

地域発 元気づくり支援金 7億9,000万円

〈総務部〉

市町村が主役の元気な長野県づくりを進めるため、市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組むモデル的で発展性のある取組に対し支援金を交付

8 教育再生プロジェクト ～良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～

活用方法選択型教員配置事業 48億2,460万円

〈教育委員会〉

小・中学校や市町村教育委員会の判断で活用方法を選択できる方式により教員配置を行い、児童・生徒一人ひとりに応じたきめこまやかな支援・指導を実施

- ① 「中学校30人規模学級編制」を「少人数学習集団編成」との選択制により、中学校3学年に拡大

「未来を拓く学力」の向上推進事業 2,881万4千円

〈教育委員会〉

児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査等に基づく課題の分析や授業の質的向上を目的とした校内研修、英語中核教員を養成するための研修等を実施

長野県版運動プログラム普及事業 1,309万円

〈教育委員会〉

子どもたちに体を動かすことの楽しさやスポーツの魅力を伝え習慣化のきっかけをつくとともに、指導者の養成など児童生徒の体力・運動能力の向上を推進

- ・「運動遊び」普及定着のための長野県版「運動プログラム」研修会の実施
- ・「体づくり運動」実技講習会の実施

⑨ 県内のケーブルテレビと連携した「運動遊び」の番組を放送 など

⑨ **少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり支援事業 105万4千円**

〈教育委員会〉

本格的な人口減少期の小・中学校のあり方について、検討会議を設置して市町村とともに検討し、新たな学校づくりを促進

発達支援を専門的に行う学びの場づくり検討事業 16万1千円

〈企画部〉

発達障害に対する先進的な指導・普及に対応した教育内容や先進的なノウハウを持ち、発達障害教育の充実に資することを目的とする学びの場について検討

⑨ **信州型コミュニティスクール推進事業 6,389万8千円**

〈教育委員会〉

地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するため「学校運営協議会」の設置を推進するとともに、保護者や地域住民が学校運営に参画し教育活動を支援する仕組みづくりを推進

こどもの権利支援事業 699万6千円

〈教育委員会〉

いじめや体罰など子どもの権利侵害案件に対応するとともに、学校や地域において子どもの権利が尊重される社会づくり、急増するいじめの相談体制を構築

キャリア教育支援事業 3,208万4千円

〈教育委員会〉

「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、地域社会や産業界が学校を支援する仕組み(プラットフォーム)を構築し、幼保・小・中・高一貫した体系的なキャリア教育を推進

- ⑨ ・キャリア教育カリキュラムを改革する高校を重点的に支援
- ⑨ ・自立支援コーディネーターを配置
- ⑨ ・子育て理解教育の推進
- ⑨ ・高校生の就業体験拡大

⑨ **ながの版 通学合宿事業補助金 400万円**

〈企画部〉

子どもたちの自立心やコミュニケーション能力を養うため、公民館などで共同生活をしながら学校へ通う「通学合宿」に対する経費を助成

⑨ **情報通信技術(ICT)を活用した確かな学力育成事業 6,899万6千円**

〈教育委員会〉

ICTを活用した21世紀にふさわしい学習スタイルを実践研究するとともに、教員のICT活用指導力を向上させる研修の充実やICT環境の整備

新県立4年制大学設立準備事業 (未定)

〈総務部〉

(県立大学設立準備委員会等で基本構想等に係る検討を進め、その状況を踏まえ、所要額を要求)

⑨ **公民館等による地域課題講座開催支援事業 250万円**

〈教育委員会〉

地域課題の学びを通じて地域活動に参加するきっかけづくりや社会教育の活性化のため、公民館等が実施する地域課題に関する講座の開催を支援

9 信州ブランド確立プロジェクト ～県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造～

信州ブランド戦略発信事業 6,226万5千円

<観光部>

多くの県民や関係団体の参画を得た信州ブランド戦略推進の取組と継続的なブランド力の磨き上げを促進

- ・キックオフイベント、信州ブランドフェアの開催
- ・ホームページの作成・運営
- ⑧・信州ブランドイメージブックの作成

⑧ 信州ブランド大都市圏情報発信事業 2億5,052万8千円

<観光部>

信州ブランドを大都市圏などにおいて効果的に発信していくため、総合情報発信拠点として「信州ブランドショップ(仮称)」を市町村と共同して設置

「おいしい信州ふード(風土)」プロジェクト推進事業 7,371万2千円

<農政部>

「おいしい信州ふード(風土)」の認知度向上を図るため、「おいしい信州ふード(風土)」大使を先頭に県内外へ積極的に発信

- ・「おいしい信州ふード(風土)」大使と生産者、実需者との交流
- ・キャラバン隊によるPR、シンポジウムの開催、トップセールスの実施 など

⑧ 信州ブランド選定事業 2,039万1千円

<観光部>

「信州ブランド選定制度」を構築し、信州ブランドに相応しい「モノ、コト、バ」を選定するとともに、選定制度や選定品を周知し、全県を挙げたブランドづくり・ブランド磨きを拡大

- ・「信州ブランド選定委員会」の開催
- ・選定品県内フェア(商談会)の開催
- ・ブランド選定特集紙面・番組の制作 など

⑧ 信州ブランドづくり支援ネットワーク事業 361万7千円

<観光部>

信州のブランドづくりを円滑に進めるための試験研究機関・大学・企業等支援機関のネットワーク化の推進と、県民からの相談を効率的にネットワークに結びつけるための相談窓口の設置

ワインブランド化推進事業* 2,638万円

<観光部>

県産ワインやワイン用ぶどうの評価が高まるなか、県産ワインのブランド化を推進し誘客を促進

⑧ ワイン生産アカデミー事業* 120万円

<農政部>

ワイン用ぶどうの生産やワイナリーを起業しようとする意欲ある新規参入者を支援するため、ぶどう栽培やワイナリー経営に係る知識・技術を習得する講座「ワイン生産アカデミー」を開講

⑧ 観光おもてなし推進事業* 5,889万9千円

<観光部>

観光サービス全般にわたる接客と県民参加によるおもてなしの向上により、誘客の拡大と再訪の促進